



小樽南ロータリークラブ会報

1960年創立
昭和35年2月5日

27

2021年4月2日発行
通巻 第2937号

Rotary 

2020-2021年度IRテーマ

2020-2021年度 RI第2510地区目標
「守・破・離」の心で
初心を忘れず！変化を恐れず！
希望の扉を開けましょう。

- 2020年ロータリー100周年を祝おう
- 会員基盤の強化
- IT活用の推進と公共イメージの向上
- 1クラブ1プロジェクトの推進
- ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化
- クラブ戦略計画の作成に期待


ロータリーは機会の扉を開く

今週4月2日金のプログラム

- 干支会員卓話：村越会員

来週4月9日金のプログラム

- 干支会員卓話：宮川会員

再来週4月16日金のプログラム

- 卓話：北海道新聞小樽氏局長 相原氏

●例会場/オーセントホテル小樽 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8080 ●Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第26回例会報告 (3月26日金) ●卓話：北海道信用金庫支店長 大谷氏(元会員)

■ロータリーソング【日も星も風も】

■ゲストビジター紹介

ゲストスピーカー
北海道信用金庫小樽支店長 大谷純一郎様

■会長挨拶【斎藤会長】

先週例会終了後、増強特別委員会を開催いたしました。委員長は私なのですが、斎田副委員長に旗振りいただき、今期も残すところ3ヶ月と少しのところでの開催でした。会員増強が組織を運営する大事なキーとなります。会員の皆さまのご推薦、ご協力よろしくお願い致します。

今日はみなさまご存知、北海道しんきん小樽支店長の 大谷純一郎元会員に、第6グループロータリアン卓話の9人目。小樽クラブ会員としては5人目としておこしいたしました。当初は末永通先生におこしいたさき、朝里まちづくりの会についてお話しいただく予定でしたが、小樽市から発熱外来を引き受けている関係で、今の時期はちょっとまずいなとご連絡いただきました。そんな中、旧知の仲の大谷支店長に代打としてご登場いただいた次第です。

既に1年以上前になりましたが、大谷支店長復帰に関しては、荒田しんきんひまわり会会長にご同席いただき、佐林本部長のところにかがった件は、会員の皆さまにご報告した通りです。

大きな組織にいと、個人の力ではなかなか抗う(あらがう)事ができません。

今日は久しぶりに元気な大谷支店長の顔を見ることがで

きました。今日はよろしくお願い致します。
最後にもう一つ、石川会員の次女蘭ちゃんが、小樽市青少年スポーツ賞を受賞されました。全道大会800m2連覇、1500m優勝、800m全国大会入賞が受賞理由です。長女の苺ちゃんも昨年12月20日全国高校女子駅伝で、都大路を旭川龍谷高校のメンバーとして疾走しておりました。今後共石川姉妹の活躍を応援したいと思います。

■幹事報告

●なし

■委員会・同好会報告

交通安全運動について【山谷社会奉仕委員長】

コロナ禍の中、2名以内での参加要請あり。副委員長、副委員長2名で参加します。詳細は会場入口のボードにて掲示しております。

桂次年度幹事より

例会終了後、次年度の準備理事会を開催します。各理事予定者は残り参加してください。

■出席委員会

令和3年3月26日(金)

会員総数 64名 本日の欠席者 0名
理事会決定により100%出席
リモート出席者 5名
米山、高木(正)、地山、保知、見延

令和2年3月5日(金)

移動例会につき確定出席率100.00%

■まごころ箱 いつも有難うございます!

- 斎藤会員 大谷支店長、卓話ありがとうございます。
- 濱本会員 担当例会、無事終了しました。
- 宮川会員 夫人誕生祝。
- 京谷会員 お先に失礼します。

入金集計額

【令和2.7.3~令和3.3.26】 3月26日分 8,000円

合計 797,000円



北海道信用金庫支店長
大谷 純一郎氏
(元会員)

みなさん、こんにちは。北海道信用金庫小樽支店の大谷です。2018年1月に札幌・北海・小樽の3金庫が合併後、その年の6月に小樽南ロータリークラブを退会して以来の約2年9か月ぶりでございます。現小樽支店と稲穂出張所（旧北海信用金庫小樽支店）が2019年2月に統合後、小樽事業本部にりましたが、現在は昨年7月の異動で小樽支店に勤務し、慣例と言いましょか今までの流れの通り小樽ロータリークラブに入会致しております。私は、小樽南ロータリークラブへの入会を強く、強く熱望したのですが、その願いもかなわず大変申し訳なく思っております。

携帯がなり、出るとなつかしい斎藤会長でした。本部から営業店に戻り、小樽市内出勤務し、ましてや理由はともあれ小樽ロータリーに入会している。なんとなくモヤモヤ感、後ろめたさ、があり、お声をかけて頂き、みなさんとお会いできる機会を与えて頂き斎藤会長には感謝しております。

昨今の金融機関の取組みと北海道信用金庫のPRを話させていただきます。

昨年の2月ころから新型コロナウイルスが猛威を振るい、当初はゴールデンウィークには収束するだろう、まあ遅くともお盆頃には通常の経済活動にもどるであろうと思っておりましたが、いまだに先に不透明感がある状態であります。

昨年5月に全国信用金庫協会では、信用金庫は地域経済・社会機能維持に不可欠な金融機関として現金供給や決済機能、資金融通等に係る業務の体制維持を構築することが求められており加えて新型コロナウイルスによる影響を受けたお客様へ迅速、適切かつ柔軟な対応が求められております。感染症により影響を受けた事業者の資金繰りに重大な支障が生じることのないよう、現場の営業担当者を含めた金庫全体に徹底する。またかかる事業者から不必要に多大な書類等を徴求しないよう配慮しております。

新型コロナウイルス対策特別融資については、前年同月比売上20%減少という条件はありますが、最高60Mまで、返済の据え置き期間3年、その期間内の金利は0%、据え置き期間後の金利が返済期間によって1%もしくは1.2%の新型コロナウイルス対策の特別融資の取扱が始まり、昨年の7月までは休日返上で申し込みに対応しておりました。一時申し込みも落ち着いておりましたが、今年2月上旬に、3月末までに保証協会の承諾を受け5月までに融資を受けれることを条件に一企業20M増枠され、申し込みも再度増加傾向にあります。

当金庫は小樽市内に事業性融資を取り扱う店舗は6店舗で、取扱は550件80億です。小樽市内の他の金融機関（北洋 道銀 北陸）ではほぼ同程度の取り扱いとしますので、先ほどの件数を4倍しますと小樽市内の企業様へ約2,200件320億の融資実行があったと推察されます。この数字からもコロナの影響と計り知れないと感じております。

特徴としては、①再度の利用申し込みもございますが、今まで持続化給付金や自己資金で対応していたご家族で経営されている企業の申し込みも増加しております。②また、先行きの不透明感からか、個人のお客様の住宅ローン・マイカーローンの借入れ残高が50万円以下の一括返済が増えております。③その事業所が対象となる補助金や助成金等にどのようなものがあるか、また申請方法等を勉強されています、お恥ずかしい話ですが、相談されてもよく知らない制度もありましてお客様から勉強させてもらうケースもございます。

北海道信用金庫は、令和3年12月2日に創立100周年を迎えます。

大正10年12月2日に設立以来、一世紀の長きにわたり地域の皆さまに支えられ、道央圏を中心に営業基盤を拡大し、北海道最大の信用金庫になりました。

これもひとえに皆さまのご支援の賜物であり、心より厚く御礼申し上げます。ちなみに、小樽支店は令和4年2月に100周年を迎えます。

創立100周年記念スローガンは、地域に愛され一世紀、ともに輝く未来へ

創立100周年を迎えるにあたり、記念スローガンとロゴマークを制定いたしました。

いずれも当金庫役職員から募集し、決定したものです。

地域専門の金融機関として、地域の皆さまとともにコロナ禍を乗り越え、明るい未来を創り上げていくという思いを込めたスローガンです。

小樽支店を含め、小樽市内には9店舗の支店がございます。地域専門の金融機関として地域を守るを合言葉にこれからもお客様や地域の問題解決に尽力してまいりますので、お気軽にお声をかけて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

本日はありがとうございました。

